



とよおか

第 31 号

平成18年4月28日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



豊丘村50周年記念フォトコンテスト入選作品より

3月定例会

3月定例会のようす	2～3
第1回臨時会、請願・陳情、議会活動報告	4～5
予算特別委員会の質疑から	6～7
一般質問のようす、追跡	8～9
一般質問のようす	10～13
一般質問のようす、視察報告、委員会便り	14～15
「私の一言」、私がんばっています、編集後記	16



この議会だよりは、再生紙を使用しています



平成18年度 豊丘中学校入学式 クラス編成表に見入る新入生

平成18年度 第1回定例会

一般会計当初予算 30億5,800万円

デジタル化事業総額 6億円

平成十八年度第一回定例会が三月六日から二十三日までの十八日間の会期で、十八年度一般会計当所予算、特別会計五件、十七年度一般会計補正予算二件、特別会計三件、条例改正十件他、請願三件、平成十七年度南小学校大規模改造工事請負契約締結などが審議されました。

十八年度一般会計当初予算

平成十八年度一般会計当所予算は、歳入歳出それぞれ三十億五千八百万円の前年比七、五%増(二億一千四百万円)となっており、十八年度よりまちづくり交付金事業で実施するC A T Vデジタル化整備に伴う事業費が大幅に伸びたものです。

歳入

村税収入は五億五千五百二十万三千円で前年比五%増(二千六百四十三万一千円)を計上した。内容は、個人村民税一億六千九百三十九万九千円、法人税三千三百五十一万円、固定資産税は三億七百四十二万五千円を計上した。地方交付税は、前年比四千六百八十一万(三、五%)減の十二億八千三百三十七万六千円を計上した。

歳出

自らつくる地域交付金事業に三百万円

この事業は村が独自に実施する新規事業で、地域住民の知恵を結集し、地域の創意と工夫により個性ある地域づくりを協働の力で図り、地域の活性化を推進するための経費に対し、交付金を予算の範囲内で交付するものです。

交付対象者は(一)区、自治会(部落)及び隣組(二)村内の住民で構成する、五名以上の地域づくりの団体等となっています。

交付対象事業は

(一)地域の安心、安全な暮らしを確保する取組。

(二)若者定住の取組。

(三)美しい地域づくり(道路沿線の植栽や環境美化等)の取組。

(四)地域の資源を活用した産業の

創出や、地域における雇用の創出の取組。

(五)高齢者の生き甲斐づくりを兼ねた、地域づくりの取組。

(六)芸術文化の振興及び伝統芸能、伝統文化の継承の取組。

(七)その他地域の活性化に資する取組。

交付期間は、最長で三ヶ年を限度とし、特別な場合を除き人件費、飲食代は控除したものとす。交付額は、対象経費の十分の八以内で、交付限度額は五十万円とするものである。

C A T V デジタル化事業経費総額で六億円。

有線事業費関係で、C A T V のデジタル化事業費として、設計委託料一千三百万円。工事請負費三億五千五百万円を計上し有線のデジタル化に対応するための予算です。この事業は十八年から二十一年にかけて総額六億円を投入する大型事業で、その財源は国のまちづくり交付金二億四千万円、起債二億七千万円。一般会計九千万円です。

乳幼児医療無料化が拡大

今までの通院、入院の医療費が小学校三年までだったのが本年度より、小学校六年生まで拡大され、入院については中学三

年生までとなりました。

不妊治療費助成金に三十万円

児童福祉費の負担金及び交付金の、不妊治療費助成金三十万円は、本年度からの新規事業で、一人十万円の三人分です。

保育園児にも誕生日祝本

いままで小、中学生に誕生日祝本を贈っていたが、本年度より保育園児にも誕生日祝本を贈ることとし、選定や配付方法を検討して有効活用しようとするもので二十六万四千円を計上しました。

ヘルスアップ事業取組み

保健衛生費の各種検診委託料二千五百五十四万五千円が計上されていますが新規事業のヘルスアップ事業の取組みが始められます。習慣病予備者をヘルスアップニング、人間ドック消防団健康診断等の一次検査の結果から三十名を抽出して個別訪問等の対応後、二次検診で十名をフォローアップして個別相談や食事、運動の学習会を通して事業の推進をはかっていきます。

中平住宅団地着工

中平に予定している住宅団地造成にともなう事業として、陳

の坂線道路拡幅事業に二千八百七十万円。団地造成事業二千四百五十万円。計五千三百二十万円が計上されました。団地造成では他に土地購入費二千九百万円、補償金四百二十万円なども予算化されました。

早寝、早起き、朝ごはん運動の推進

南小学校を中心に取組んできた早寝、早起き、朝ごはん運動をさらに推進するために印刷製本費として四十三万六千円を計上し、県のコンズ事業に申請するとのこと。

特別会計

国民健康保険特別会計

予算総額は四億八千万円で、昨年を二、一％上回っている。十八年度当所予算における一般分の保険給付費は十七年度と同額を計上し、国保税は据え置きとした。

老人保健医療特別会計

予算総額は七億六千四百四十万円で昨年比四、二％減となっております。十八年十月より一定以上の所得者の自己負担が二割から三割への引き上げ、医療病床に入院する高齢者の食費、居住費の引き上げ、高額医療費の自己負担

限度額が引き上げ実施されます。

介護保険特別会計

予算総額は五億九千六十万円を計上。昨年比の〇、八七％増となりました。今まで在宅介護センターで行ってきた業務を本年度から役場内に設置される「地域包括センター」に移行します。なお一号被保険者の保険料は事業の見直しに伴い基準年額が四万五千円(月三千七百五十円)となります。

簡易水道特別会計

予算総額は一億七千六百万円で、昨年より百万円の増となっております。本年度も、昨年に引き続き水道水源確保事業に取り組んでいきます。

下水道事業特別会計

予算総額は三億一千六百万円で昨年度より一億四百万円の減となっております。伴野工場団地については本年度より供用開始し、全ての事業所のつなぎ込みを推進します。

なお将来を見込んだ料金の見直しが必要な時期となっており、料金を検討するための予算も計上しました。

十七年度補正予算

一般会計

平成十七年度一般会計補正予算は既定の歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ四千九百二十三万一千円と、二千七十四万五千円を追加して歳入歳出予算の総額を三十四億二千六百四十二万六千円とするものです。

主なものは不用額の減額と、財政調整基金に一億六千万円を積立てるもので、中学校の外構工事として三百二十万円も追加計上しました。

介護保険特別会計

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ三千百万円を減額して予算総額を五億五千五百三十万円としました。

簡易水道特別会計

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二千一百一十九千円を追加して、予算総額を二億三千八百九十一万九千円とするものです。

下水道事業特別会計

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二千七百十五万円を追加して、予算総額を四億四千七百十五万円とするものです。

第1回 臨時会

農業委員定数条例を否決

十八年度第一回臨時会が、二月二十二日開かれ、農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正と、十七年度一般会計補正予算第七号が上程され、農業委員定数条例は否決となりました。

十七年度補正予算

十七年度一般会計補正予算は既定の総額に歳入、歳出それぞれ一億三千九百十五万円を追加して予算・総額を三十三億五千六百四十五万円とするもので、主なものは次の通り。

南小学校校舎は建築から二十四年が経過し各所に傷みが出て来たため、耐震補強工事と共に大規模改修を行う予算一億七千七百円が補正されました。

出産祝金に不足

出産祝金百三十五万円を補正するものは、第一子・二子十名分(十万円)、第三子以降五名分(百二十五万円)を追加補正する

南小学校耐震補強及び大規模改修に一億七千七百万円



大規模改修が行われる南小

もので、当初の予想より出産が多かった事による目出度い補正です。

委託保育料

村外の保育園に園児二名を委託するための委託保育料百万円。

起債償還金

南保育園の改修工事費の起債償還金二千七百七十八万円などです。

農業委員定数条例

農業委員会の選挙による委員の定数は条例により十五名となっているものを、四名減員として十一名に改正しようと提案がされましたが、今の農業情勢の中で農業委員を減らさなければならぬ理由がわからない、との反対討論があり、採決の結果賛成五、反対八で、賛成少数にて条例の改正案は否決となりました。(関連記事八面に)

議会活動報告

◎一月

六日 賀詞交換会

八日 消防団出初式

十日 議会たより編集委員会

十一日 総務産建委員会

十三日 議会たより編集委員会

(郡町村議長会総会(議長))

十七日 議会新春放談会

十八日 中学校建設委員会

二十四日 議会たより編集委員会

三十日 議会たより編集委員会

三十一日 定例全員協議会

◎二月

三日 県町村議長会役員会

(議長) 広域連合議

会運営委員会(議長)

六日 村政懇談会反省会

八日 議会運営委員会

九日 三遠南信・リニア定期総会(議長)

十三日 一月会

十四〜十五日 中央道・恵那山

トンネル等議長会連絡協議会国会要請

(議長)

十六日 議会定数問題等懇談会

十七日 広域連合第一回定例

議会(正副議長)

二十一日 議会運営委員会 議

会委員長会議

議員・理事者報酬5%削減

議会議員の報酬に関する条例の改正、常勤特別職の給与に関する条例の改正案が三月議会に上程され、常勤特別職については前年に引きつづき、5%の削減に。

議会議員の報酬については、報酬審議会の答審にもとずき、3%削減案が提案されましたが、総務産建委員会に付託し検討の

結果、①近隣町村に比較して、5%削減が妥当と考える、②今回は、理事者と同率とすることが望ましいとの修正意見が出され、議員提案として、本会議に提出され、採決の結果、賛成九名にて原案を修正して5%削減となりました。

改正後の報酬は別表の通り。

改正後の報酬

村長(5%削減) 647,000円を614,000円に
 助役(5%削減) 550,000円を522,000円に
 教育長(5%削減) 486,000円を461,000円に

議会議員(5%削減)

議長 255,000円を243,000円に
 副議長 190,000円を181,000円に
 常任委員長 163,000円を155,000円に
 議会運営委員長 157,000円を150,000円に
 議員 153,000円を146,000円に

以上が主な報酬の改正になります。

陳情・請願

- 市町村が設置する障害者自立支援法の介護給付にかかる二次判定の審査会に、障害当事者および関係団体の代表を加えることを求める請願
 ……採択
- 障害者自立支援法施行に伴う地域生活支援事業の実施を求める請願
 ……採択
- へき地手当削減提案の撤回とへき地教育の振興を求める意見書提出に関する請願
 ……採択

議員定数で住民懇談会

議員定数について、議会では二月十六日、議員定数について住民の意見を聞く「議員定数等懇談会」を開催、多くの村民の皆さんの出席をいただき、忌憚のない御意見を聞く事が出来ました。

出席者からの意見は「定数 少なくしても、住民の声が届か減らすというのは財政だけを ない事はない」「定数を減らし考える意見で、民主主義の原則 たら、報酬をふやさなければ議からすれば多い方が良い」「豊 会活動に打ち込めないのではな丘村より人口の多いのに定数が いか」「前回の選挙のように、少ない自治体もある将来を考え、 欠員のまま無投票であったこと今のうちに改革を」「行政経費 が問題」「極端に減らす事はよ削減のため、議員定数や報酬を くない」「近隣町村が減らしてあまり減らすと、議員になり手 いるとはいえ、村として何人ががない」「現行の定数を多少、 ぶさわしいかを考えるべき」

◎三月

- 二十一日 第一回臨時議会 北
- 二十三日 部ブロック理事者 北
- 二十三日 正副議長会議
- 二十三日 中学校建設委員会
- 二十七日 県町村議長会定期総 会(議長)
- 六日 第一回定例会開会 全員協議会
- 七日 議会たより編集委員会
- 八日 総務産建委員会
- 九日 総務産建委員会
- 十日 社会文教委員会
- 十三日 社会文教委員会
- 十四日 議会一般質問
- 十五日 議会本会議再開 予算特別委員会
- 十六日 算特別委員会
- 十七日 中学校卒業式
- 十八日 南北小学校卒業式
- 二十二日 第一回定例会再開 日 全員協議会
- 二十四日 保育所卒園式
- 二十七日～二十八日 議員研修視 察(七名)
- 二十八日 下伊那厚生病院運営 委員会(議長) 日赤 奉仕団総会(総務産 建委員長)
- 二十九日 議会たより編集委員会
- 三十日 戦没者追悼式
- 三十日～三十一日 議員研修視察 (五名)

事業とは何か

介護慰労金減額に白熱した議論が

平成十八年度当初予算は、三十億五千八百万円で、前年対比七・五%の増となった。これはCATVデジタル化整備に伴う事業などによるものである。限られた財源を有効活用するため長時間に渡り議論された。

主な内容は次の通りである。

コモンズ支援金の豊丘版 協働の力で 地域の活性化を

北澤議員 自らつくる地域づくり事業について詳しい説明を。

伊藤課長 コモンズ支援金の豊丘版のようなもの。住民の知恵を結集し、協働の力で地域活性化を進める為の事業に交付金を出すものである。対象者は、村内の住民五名以上で構成する。

対象事業は、若者定住、植栽資源活用、高齢者の生きがいづくり等の取り組み。交付期間は三ヶ年。交付額は経費の十分の八以内で、五十万円を限度とする。対象経費に人件費、飲食代は控除する。とあるが、審査の中で、人件費はよいのではないかとの意見もあった。要綱施行するまでに検討していく。

片桐(秀)議員 祭が対象になった場合、祭維持のための道具は対象になるのか

伊藤課長 道具を買う事で地域



の活性化につながれば良いと思う。申請した段階で、他の補助事業を使った方が良い場合は、対象からはずれる事もある。

資材支給額改正により 二十万円〜三十万円に しかし課題も

菅沼議員 公共性のある箇所を手間を出しあって行う良い事業

であるが、山間部は若い人ばかりでなく、手間の部分は重機が主になる。重機の比率を高めてほしいとの地元の要望がある。

丸岡議員 事業費がふえると、難しい仕事もする事になる。素人がやるので何か事故があった時どうするか、村が責任を持つてというのではないが、これから自主的に行う事業が多くなってくるので、安全対策の対応はとっておいた方がよいと思う。

土木申請であがった中で切り落した所を資材支給で整えられる様な箇所はあるのか。

伊藤課長 安全対策を怠って、事故に合った場合は該当するかどうかわからないが、十七年度にも道づくり等も事故の対象としている。

森田課長 修繕工事があがった中にあるので、お願いをしていく。皆で力を合わせてやって頂きたい。

有線テレビのデジタル化
対応について

北澤議員 事業費の二割を重機代とするきまりはいいが、現場をみて臨機応変にできないか。

丸岡議員 有線のデジタル化について全体の計画はどうか。

片桐(秀)議員 丸なげが問題なので申請書に但し書き条項をつけるのはどうか。

伊藤課長 今回は基幹の伝送路の設備を行い、全体としては六億円の予算で十八年、十九年に大方の整備をしていきたい。

森田課長 担当との話し合いの中で六万円の重機は、けっこう使えるのではとの意見があった地元の土木委員の方と相談にのりながら今年はこのまま行っていくきたい。

丸岡議員 災害情報、気象情報は何ヶ所置くのか。あまり必要性は感じないが。

助役 はじめから流動的だと運用が難しい。一年やってみて課題が出た時に改正していく方がいいと思う。

伊藤課長 気象情報は、今ある三ヶ所を一ヶ所にする事は決まっているが、その他はこれから検討する。あまりお金をかける事

村長 特別な事は担当へ言ってもらい、新しい時代にあうように検討していきたい。

菅沼議員 公共性のある箇所を手間を出しあって行う良い事業

予算特別委員会の質疑から

協働のむらづくり

はないが、必要と思われる部分
はせざるを得ない。

敬老会の 取り組みについて

片桐(秀)議員 敬老会に關係する費用は総額どの位かかるか。
福澤課長 送迎のバスについては村のバスを拜用するので費用は安いが、今年は演芸の、プロをよぶので、総額百三十万円位になる。

唐澤議員 今年も村としての取り組みになるといふが例年と違ふのは、お酒を出さないことになつてゐるが持ち込みはどうか。
福澤課長 今の段階ではまだ具体的にとどうするかといった事までは考へてゐない。

社会福祉施設の 委託料について

丸岡議員 福祉センター管理委託料として計上されてゐるが、これに関して施設の管理委託について検討されたか。
松下事務局長 福祉センター管理委託は、前年は管理人を嘱託職員としての報酬で支払つてゐた。

丸岡議員 報酬から委託料への変更は、人件費関連の税額の抑制の政策的対応をしたのか。
施設管理の委託は、条例で委託の規定を定めて実施するのが原則ではないのか。

松下事務局長 管理の一部であり、条例上の明確な根拠がない。はつらつ等の管理委託や今後の公的施設の委託問題もあり、理事者並びに議員ともこの問題につき研究検討する。

誕生日を 保育園、小中に贈る

川野議員 誕生日については当初予算の中で保育園と小学校までとなつてゐるが、やつぱり中学生にまでやりたいと村長は決心したのか。そのことによつて、四月から中学生の子供にやることになるかと当然予算が足りなくなるので、補正を組まなければならぬが六月の補正でするのか。

村長 九月の時に補正を組んでやる。当初予算に盛りこむべきだったかもしれない。
川野議員 最初から中学生までの誕生日をやるのなら、当初予算に組みこむべきと思う。

前沢議員 本の選択の枠を広げ

て欲しいが。

森田教育長 学校の関係者によつて推薦本百冊、先生方が三十冊その中で子供達が自分の読みたい本を選ぶとなつてゐる。

片桐(眞)議員 一番いいのは当初予算で組むのがいいと思う。中学生まで、誕生日を取り組む事は、全国的に誇りを持つてゐるので補正でもなんでもやつてもらいたい。

唐澤議員 幼い頃から図書に親しむ習慣を身につけるのは良い。

川野議員 保育園の誕生日については、読み聞かせ推進事業としてやると聞いているが子どもたちへの渡す方法はしつかり考へてもらいたい。中学生は、たくさんの中から自分で選ぶ事ができるが、保育園の本の選択はどのようにやるのか。

毛涯所長 保育園では、今も有料で、三冊か四冊保育士が、選んで保護者に買つてもらい、保育士が読み聞かせをしてゐる。絵本の担当の保育士が、何才児にはどんな本が良いか研究して選んで、その中からだぶらないように、保護者にお金を出してもらつてゐる。その一部になるのではないかと思つてゐる。渡す方法については、これから研究していききたい。

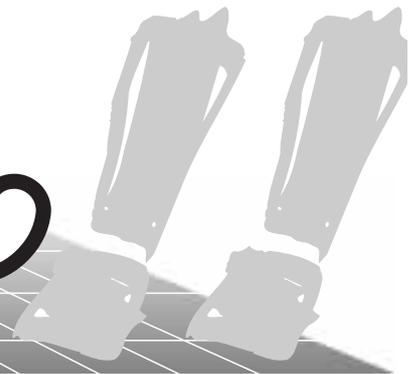
介護 慰労金について

川野議員 介護慰労金は、今までは九万円であつたが、三万円になつた根拠はどこにあるのか。
福澤課長 特に金額については根拠はないが今後、介護者の心と体のケア、リフレッシュ事業をより充実する施策を講じていききたい。



旧交を温める場面も

しつもん



質 残り一年余りの公約と取り組み

答 任期いっぱい全力傾倒

菅 沼 明 人

質問 平成十八年度一般会計当初予算は総額三十億五千八百万円で、前年当初に比べ七、五％増となっており、村長は二期目の四年目を迎え残された約一年余りで二期目が任期満了となります。

そこで村長の公約の実現と残された一年余りの具体的な取り組みについてどう考えるか。

村長 来年の四月二十九日をもって任期は満了するわけですが、

財政難の中で村民のみなさんに公約した、村づくりの各種施策は、おおむね進めてこられた。残された任期は、村民の福祉向上に全力をあげたい。

◎重点事業は

防災情報通信施設を整備

地球規模の自然災害を最小限に食い止めるため、光ケーブルを全村に敷設し安全な生活基盤の整備と、CATVデジタル化対応への設備も導入する。

◎子育て支援対策

乳幼児の医療費の無料化の年齢の引き上げ、不妊治療費の補助

◎人口増対策

住宅団地の造成、結婚問題、交流センターのNPO法人化による一層の交流と発展、産業振興の推進。

◎医療福祉の対応

社会福祉協議会を中心とした医療機関、福祉施設と連携した中での高齢者、障害者対策、そして交通対策など推進を図ってまいりたいと思います。



豊丘中学校 新校舎でスタート

農業委員定数条例改正案審議の際、丸岡議員が行った質疑討論の要旨は次のとおり。

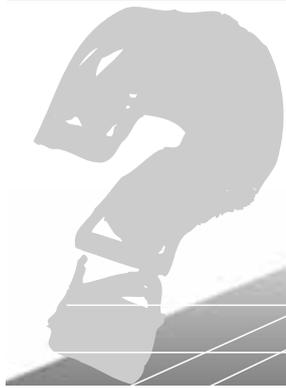
役場庁内で作成された行政大綱は、農業委員定数を四名削減としているが、農業委員会の任務をどう見ての判断か疑問。

農業委員会の研究でも、行革大綱や隣村での定数減等考慮した定数四減とされたが、研究の過程で「地域密着の活動を求められ、安易に定数減をすべきではない」「地元付近な農業委員が必要」等の意見があったと報告されている。反対するのは心痛の限りだが、今は何としても減らさずやってほしい。

追跡! No.1 農業委員会に期待して

私は財政難を見据えて、人件費抑制の必要性を誰よりも強く訴えてきた。しかし、削ってはいけないうちもあると思う。農業委員会は農業振興の頭脳であり手足。今の村の農業を支えるのは圧倒的に高齢者。これから農地を荒らさずどう守っていくか、この難しく重大な任務は、農業委員会に期待しなければならぬと思う。

村長は委員数を減らさないことで、農地や農業を守る意を宣言してほしいと心から願う。



いっぱん

質 産科対策の緊急課題は

答 医師確保に全力で取り組む

川 野 孝 子

質問 松川町にある日赤病院については、医師がひとり減る事により四月からお産の取り扱いが出来なくなってしまう状況。

この地域の女性たちが安心して子どもを産み育てる事が出来る為にも、日赤の産科存続は急務である。広域連合として又、村としてどんな取り組みをされているのか。

村長 下伊那地区の産科問題については、包括医療協議会と行政の懇談会を重ね、産科問題懇談会という組織を昨年八月に発足させた。十月には県の衛生部長、信大への陳情を行った。

今後については、北部の町村上伊那南部の町村と連携をとりながら、又、これから子育てをしてもらう若い皆さんと一緒に、日赤の産科、あるいは小児科への医師の確保に取り組んでいきたい。

◎安全、安心な飲料水の確保について

質問 豊丘村では飲料水のほとんどを地下水に依存している。しかし、硝酸性窒素の汚染が進む中、表流水の確保に向けての取り組みをするつもりがあるかどうか聞きたい。

村長 現在掘削中の地下水の水値の状況により、今後具体的に考えていきたい。ちっ素の除去についても、いろんな方法があるがメリット、デメリットが大きく、今後の課題としたい。



河野地区 井戸の掘削

追跡! No.2

日赤の産科存続を

すでに御承知の様に、今、松川町にある日赤病院では産婦人科医が一名減る事により、四月から分娩扱いが休止に追い込まれようとしている。この状況に危機感をつのらせたこの地域の女性たちが「心あるお産を求める会」を結成。下伊那、上伊那地域から五万人近くの署名を集め、県の衛生部長、県議会へ提出をした。二月県議会に於て採択され、国の関係機関に意見書が提出された。

今、産婦人科医師、小児科医師の不足は全国的にも深刻な状況であるという。理由として考えられるのは、お産にしても、子どもたちの病気にしても昼夜を問わず対応が求められる、過酷な勤務条件が強いられているのも事実。又、訴訟のリスクも高く、医師の資格を取得してから研修の期間のうち、他の診療科目に志望を変更してしまう事等が、医師不足に拍車をかけている。医師の資格を取得する人たちは全国で増える要素があるが、麻酔科、小児科、産婦人科医の減少は、国が根本的な原因説明を含め、早急に施策を打ち出し、ていかなくってはならない。

豊丘村議会としても、三月定例議会の開会日に議員発議一号、二号を提出。可決された。県、国へ産婦人科医の確保を要請する意見書の提出を行った。

質 デマンド交通の共同設置は

答 「前向きに研究したい」

片 桐 秀 人

質問 今、乗合タクシーの試行運行を実施しているが利用は五分の程度しかない。どう評価されているか伺いたい。

村長 豊丘村の将来の交通システムはどうあったらよいかと言うことで行った。今アンケート集約中であるが、何かの結果が出ると思う。失敗だったとは思っていない。十八年度が正念場になると思う。

質問 先日北部五町村の議員の有志で、福島大学の奥山教授を招いて、五町村で「デマンド交通システム」の共同設置は「可能かの学習会を開いた。結果は可能との結論であった。村長も出席して頂いた。村長も考えられるか。

村長 感銘を受けた、各町村それぞれの事情がある、地形や費用の問題もある、北部のふるさと振興局の戦略会議もあるので話題になると思う。

質問 村長は概ね賛同して頂けると理解してもよいか。

村長 多くの皆さんとの議論が必要だが、私自身は前向きに研究をする必要がある



と思う。

質問 北部五町村の交通対策はスクールも含め一億四千万円も支出されている。この効率化は課題と思われる。単に交通対策としてだけでなく、手軽に歩けることで健康寿命を長くすることで、医療介護の費用節約にもつながる。地域経済の活性化にもつながる。さと振興局で提案して頂きたい。私達議員としても側面的に協力していきたい。

質 地震対策について

答 心得帳を配付

松 井 尚 子

質問 関東大震災以後六十年後を経過したということで大地震があり、発生して不思議なことはないと思う。幸いというべきか、本村では東京からはなれている・日本列島はいつどこで大地震が起きてもおかしくない。

地震発生時の心得帳の仕方などを詳しく明記したりゼットといいますが冊子帳を全村民に配る配慮があるか・家族の構成・本人の血液型も記入して、励行させる避難訓練の途中でも事故があってもそれを持っていれば救急処置をする場合も有効と考える。心得帳を配布するということについて村長の考えを。

村長 これは村の防災訓練の際にそういう心得帳と今後の内容のような心得帳ではないが、配布している。災害が起きた場合は必要だと思う。これからの課題になる。

◎結婚相談員について

質問 結婚相談員について今まで専従されていた方が三月いっぱい辞めると聞いているが今後の対応はど



救急法の講習会

う考えているか。

村長 結婚問題をどの様に浸透していくのかという事は本当に課題である。今の様な体制がいいのか、結婚相談員それぞれが各同じ責任分野において、この事業に取り組んでいくのがいいかと判断がつきかねている。

当面、社協の会長が代行して中心的に取り組んでもらうよう考えている。出合いの場づくりの為にグループの育成も大事と考える。

質 施策の後退は十分な周知期間を

答 配慮していきたい

丸 岡 茂

質問 福祉医療制度の改正により、子育て支援として子供の医療費無料化対象年齢を引き上げたのは評価したい。しかし一方で、老人や障害者等対象者全ての入院時の食費を対象外とした考え方は何か。

村長 医療保険の対象外となつてもなお、独自で無料化対象としてきた。制度の本質も考慮した。
質問 対象者が実際の程度困窮する

かアセスメントのようなことをする必要がある。サービスの後退させようとする場合、十分な周知期間をとつて覚悟や準備をせよらう必要がある。
村長 財政難を考慮し見直しの対象としたが、言われることは配慮したい。

質問 集合税は十期分割徴収だが、円未満の端数は全て六月分にまとめて徴収する仕組みのため、金額が突出して大変だとの声がある。改善をされた



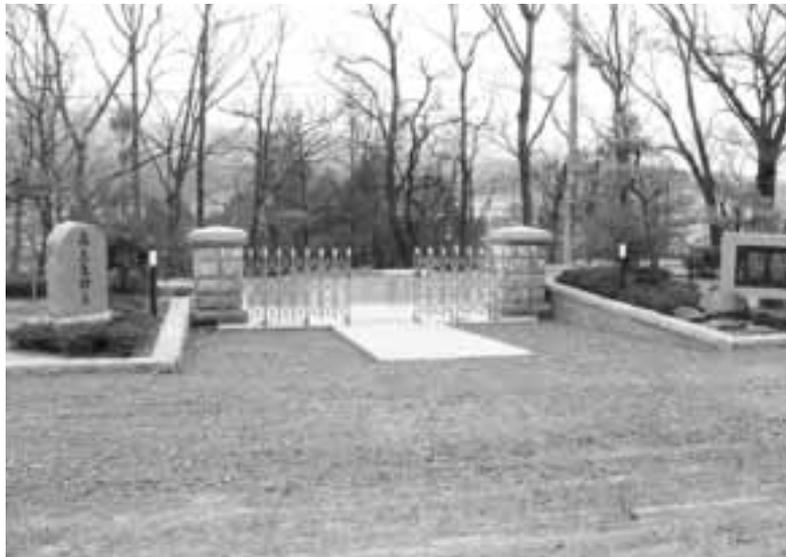
支援センター窓口が庁内へ移動

村長 条例改正や事務的な問題もあり、十九年度からの改善を目指し検討したい。
質問 先にたくさん集めなければならぬ理由はない。税の賦課徴収は公権力の最たるもの。せめて徴収方法くらいは納税者の希望に添うべきではないか。
村長 そう理解したい。しかし十八年度実施は、ここでは明言できない。
要望 この要望はある主婦からあつた。改善されれば、他にも喜ぶ人はいる。村民が生活の中からあげた声で何かがよくなる、よい事例になると思う。

質 切りつめ可能部分が有るのでは

答 無駄のない形で執行したい。

松 村 正 三



中学校 表玄関

る点を認識するよう促し、歳出削減を示唆する中で、十八年度予算案にあつては、私から考えればまだまだ脂肪・贅肉という部分をもう少し取り除く努力がほしかった感じがするが。

村長 今回の予算編成に当つては、地方財政計画をもとに、歳出はゼロベースからの積算で編成するよう指示したが、今までの施策議論を重ねて進めているところもあり、今までの実績を全く無視することは非常に難しかった。

したがって、指摘のように前年を踏襲した部分も多く見受けられると思うが、国の制度などとのからみもあり、村独自の対応だけではいけない部分もある。

今年度の予算編成及び予算執行にあつては、行政改革大綱を中心に経費節減、経常経費の節約と図りつつ総合振興計画実行のため健全財政につとめた予算編成とした。
予算執行にあつては、絶対に無駄のない形で、なお一層後年度に備えていく覚悟だ。

質問 十八年度予算、今後の課題などについて少し質問します。
私が質問通告の中で、少し太り気味の予算となつていのではないかと指摘したのは、当初予算の数字を単に比較してのことではなく、村が村政懇談会などで示している今後の財政見通しの中で、村民に対し今後は今までのような支出をしていくのは不可能であ

質 キヤップ CAPPプログラムの導入について

答 今後の研究課題としたい

片 桐 眞 理 子

質問 地域で子供を守るため、CAPPプログラムという取りくみがある。これは児童虐待の早期発見と予防についてを、ワークショップ(参加体験型学習)で行うもので、子供の本来もっている力をひき出す大切さ、大人の側の受けとめ方を教える教育プログラムである。生徒、保護者を対象に取り入れる自治体もふえてきている。導入に付いてのお考えを伺いたい。

教育長 基本的には良い事だが経費もかかり、必要の度合は逼迫していないと思う。

今後の研究課題としていく。

参加できればと思うが、どのように考えられるか。

村長 村でも、公民館や、いろいろな関係組織を通じて行っている。地域の集会施設へ出て、楽しく、継続して続ける事が必要だと思う。

介護予防ができる輪を広げていきたいと思っっている。

◎介護予防の推進について

質問 今年の四月から改正された介護サービスが順次実施される。長寿社会を支える仕組みが大きく変わってくる事になる。

転倒防止教室など充実させ高齢になっても元気で暮らしていける様になれば保険料の軽減にもなる。体力測定を六十歳を迎えた人に個別に通知し運動の大切さに関心をもってもらおう。

そして少しでも多くの人が



南小のさくら満開

質 保育所の民営化どう進める

答 人材派遣化なども検討する

前 沢 光 昭

質問 保育所の民営化を二十年度をめどに進めていくと、行政改革大綱の実施計画で定めてあるがその範囲と中身、そして保育の質をどう守るか。保護者の中には民営化との噂で広がっている。すべて嘱託化となると基本的には一年とか短期の契約になる。保育の継続性からも問題になるがどうか。

村長 範囲についてはこれから決める。現在のサービスは当然続ける。保護者の理解が大事で不安があつてはならない。派遣会社の身分に移行して行なうなどの方法が一番よいと思っっている。

所長 保護者会で発言した。実施計画では二十年度に民営化を検討するということはある。

質問 保育の質を守るといふ事は、継続性も考えれば何より大事、もし民営化になれば公共性としての声が行き届かなくなる弊害が出てくるのでよく考えて進めてほしい。

◎特別職の退職金について

質問 議員にも特別職にも退職金があ



る。なかでも特別職は一般から見れば大きな金額。村長は約一千二百九十万、助役は約七百万円が四年ごとに支払われる。大変な仕事としての見返りとして今までできたと思うが。見直しの声も各方面で行なっている。検討は。

村長 決して安いと思っっていない。さっそく町村会などで取り上げるまで考えが固まっっていない。



質 合併浄化槽設置規則の改定を

答 人口増対策からも前向きに検討

唐 澤 啓 六

質問 他市町村から本村へ住宅を新築して転入される過程で、特に中段地区の場合に一つの問題が生じている。中段地区の多くは下水道計画地区となつてはいるが、地形上から本管へのつながりこみが不可能となり止むなく合併浄化槽設置の場合に、処理水の排水先確保が困難となり転入の妨げとなつてはいる。これは浄化槽法処理規則で放流先を定めてはいる部分に問題があるわけで、こ

の部分で改定することが村の人口増対策からも不可決である。早急に検討を。森田課長 道路側構への放流は地元から困ると苦情があり、許可していない。村長 これまでの設置例でも認めたケースはある。新年度に向けて改定の具体的な結論を出していきたい。庁内一丸となつて人口増対策にとりくんでいく。

◎障害者の自立への支援は

質問 この四月から障害者自立支援法が施行されるが、一割の応益負担となり通所授産施設を利用する場合、工賃を上まわる負担となる。制度上の軽減措置はあるが住民税世帯非課税が条件となるので、障害者本人の世帯変更届（住民基本台帳法二十五条）による世帯分離を認めるべきである。

伊藤課長 世帯は居住と生計を共にする社会生活上の単位であり、北部五町村で世帯分離の判断基準を検討した。この基準項目で口頭調査を行ない、合致すれば世帯分離が可能と判断し書面申請の手続きとなる。

質 農業委員削減案否決について

答 今後の流れを考え、大変残念だ

下 平 喜 隆

質問 二月の臨時会において農業委員を現行より四名削減する条例の変更案が理事者から提出された。これは農業委員自らが、一年間かけて決定された事案である。これに対し議会としては現在の農業を取りまく実状をふまえ、農業委員の削減案を五対八で否決した。議員の私個人としてはこの一般質問でこの件に関して言及することはできないが、上程された理事者ならびに助役、課長はこの否決をどう評価するか。

業委員の削減否決は議員定数へのシグナルと見る向きもあるがどう感じているか。

村長 発言を控えたい。

質問 村長個人として豊丘村の議員定数をどう考えるか。

村長 議員定数をうたった九十一条に五千人以上一万人未満は十八人を超えないとある。豊丘村の人口から割り返してみると十三人と言う数字が出てくる。

村長 行政改革の進行を考える上で流れが止まることを危惧する。

助役 議会の決定は尊重したい。

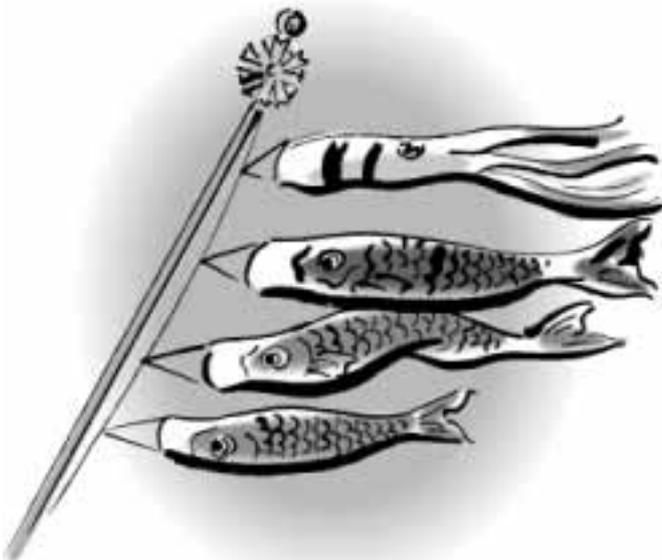
伊藤課長 非常に残念。

福沢課長 提出の方法に問題があったと感じる。

毛涯所長 大変残念だ。

松下事務局長 農業委員会自らの結論を否決された事は、残念な結果であった。

質問 豊丘村の収入役廃止に積極的に関つた議員と、今回の否決は二重基準と感じないか。また農



質 産業振興策と予算編成方針は

答 先進地や都市との交流での振興策

下 平 豊 久

質問 十八年度一般会計当初の予算編成に当たつての基本姿勢について質問を致します。

一つは産業振興策との関連で現在の厳しい経済情勢の下で、それぞれの自治体が外貨を獲得し健全な自治体の経営を進めるには、産業振興策と関連させて予算編成することが重要ですがどう予算化されたのかお聞き致します。

二つは、人口増対策についてですが、様々な分野で人口増対策として、住宅団地造成や子育て支援等々で推進されてきているところですが、長年取組んで来られました専任の結婚相談員が退任され、非専任体制での相談活動になる様ですが、村長の人口増対策の基本をどのようにお考えかお聞き致します。

村長 産業振興策ですが都市あるいは工業先進地との交流を商工会とも協力して行い企業の誘致等ができればと百万円を予算計上した。また、だいちの法人化

を急ぎ都市との交流を通じて農産物の販路の拡大に取り組みたい。人口増対策ですが、独身者への結婚対策と宅地造成をはじめとし、秩序ある農地転用で安い宅地の提供などを進めたい。それと団塊の世代に、第二の人生を自然豊かな豊丘村で暮らしてもらおう取組も考えたい。



予算書

視察研修 一月会研修視察報告 No.1

一月会(新人議員八名)は、三月二十七・二十八日に、愛知県豊田市足助町の「公社(株式会社)による地域おこしの様子」、岐阜県輪之内町の「プラスチック一貫リサイクル」、三重県伊賀市の「専任職員配置による市民活動への支援の状況」、について研究視察を実施した。

雇用創出にも一役 高齢者も生き生き 足助町観光公社

第三セクターとして足助、今や従業員数約百二十人の会社組織、一般財源を使うことは許されず、すべて自分達で稼ぎ出す。資源は、伝統と自然、この季節「カタクリの群生」は見事だ。これも、自分達で永年手入をし増やして来た努力が花開いている。又、生涯現役の福祉をめざす足助は、おじいさんおばあさん達の手作りハムやパンも有名。高齢者の生き生き笑顔が目立つという。



伊賀市の「市民活動について」の視察

リサイクル率アップは排出者の協力が不可欠 岐清共リサイクルセンター

このセンターでは「プラスチック製容器包装」の収集と再商品化に取り組んでいる。様々な工程(機械)を組み合わせ、時には多くの人手間で分別を行い乍らの作業だ。然し全てがリサイクルされるわけではない。

商品化製品となるのは五十パーセント、セメント工場(住友)へ燃料・原料として三十パーセント、残りの二十パーセントはゴミとして処分される。我々ゴミを出す側の分別の徹底と認識を一層高める必要性を痛感した。

総務 産建

自らつくる

地域づくり事業とは

この事業は、地域住民の知恵を結集し、地域の創意と工夫により個性ある地域づくりを協働の力で図り、地域の活性化を推進させるための事業に交付金を出して、地域づくり事業を推進しようとするものです。

交付対象者は、区・自治会・及び隣組、村内の住民で構成する、五名以上の地域づくり団体。交付対象事業は、
一、地域の安心・安全な暮らしを確保する取組。
二、若者定住への取組。

三、美しい地域づくり（道路沿線の植栽や環境美化等）の取組。
四、地域の資源を活用した産業の創出や、地域における雇用創出の取組。
五、高齢者の生き甲斐づくりを兼ねた、地域づくりの取組。
六、芸術文化の振興及び伝統芸能・伝統文化の継承の取組。
七、その他地域の活性化に資する取組。

交付期間は、最長で三カ年を限度とし、他の補助金の交付を受けられることのできる事業は対象としない。
交付対象経費及び交付金は、対象となる経費は、特別の場合を除き人件費・飲食代は控除したものとす。
交付額は、対象経費の十分の八以内とし、交付限度額は、五十万円とする。
その他要綱の中で交付申請・実績報告・交付金の交付等を定めてあります。
総務産建委員長 下平豊久

委員会だより

社会 教育

障害者自立支援法の二次判定に

当事者と関係団体の代表を

今定例会に請願三件が提出されましたが、紙面の都合で二件を紹介します。

①市町村が設置する障害者自立支援法の弁護給付にかかる二次判定の審査会に、障害当事者および関係団体の代表を加えることを求める請願—十八年四月より施行される障害福祉自立支援法による障害福祉サービスを利用するには審査会において障害程度区分の判定を受ける必要が

あります。その際、訓練等給付（自立訓練・グループホーム等）を利用する場合は一次判定のみで良いのですが、介護給付（ホームヘルプ・施設入所等）を受けるとは二次判定を受ける必要があります。この審査会は広域で設置されますが、この会に当事者と関係団体の代表を加えてほしいというものです。関係者の参加によって公平性、中立性が保たれるかが論議されましたが、

可能と判断し採択しました。②へき地手当削減提案の撤回とへき地教育の振興を求める意見書提出を求める請願—長野県は教職員のへき地手当大幅削減を提案しています。へき地は通勤が困難なため居住地が可能な若年層に限られ、経験豊かな教員が少ないバランスの悪い構成となっています。手当てだけで解決できるか疑問との意見もありましたが、これ以上へき地教



社会文教委員長 唐澤啓六

シリーズ「私、がんばっています」

今回は、御夫婦で、それぞれの好きな道を、互いに助け合いながら、喫茶「そらくぼ」を経営されている福島的小林睦夫さん・牧子さんを紹介します。

今回お訪ねした小林睦夫さんのお宅は、福島の本村でとても自然豊かな山あいになりました。とても優しく迎えてくれました。



女性にとって出産は人生の中で大きなターニングポイントです。男性も同じでしょう。出産は苦しみだけでなく、楽しみや大きな喜びを得るものです。初めての出産も何回目かの出産も一度として同じ出産はありません。すべてを理解し任せる事のできる医師や助産師、リラックスした環境、そして家族に見守られながらの出産。親となるスタートにどんな人と関わり、どんな経験をしたか

私の一言

産科対策に思う

現在、飯田下伊那では産科医不足の為、出産できる場所が減少するという深刻な状態になっています。この問題の対策として、検診と分娩を分けるというシステムが行われています。これは本当に最善な対策なのでしょう？私達は安全と安心を得ることができるのでしょうか？深刻化している産科医不足。少子化にも拍車をかけることでしょうか。私達はいから医師になろうとしている人達、県や国に対して声を上げていかなければいけないと思います。

十二年前、大阪より引越してきたとの事です。空き家を買って現在に至っています。お話を聞いていたらお客様が

睦夫さんは陶芸、牧子さんはガラスのアクセサリーの製造販売をしています。「そらくぼ」を訪れたお客様は、自然豊かな空間で、のんびり食事をし、リラックスして帰って行くそうです。山々の織り成す美しいパノラマ、夜景は、とても素晴らしいとの事でした。

これからの夢は、蔵を開放して自然と遊べる空間を作りたいそうです。いつ実現できるかわかりませんが、あせらず、のんびりやっていたいとの事。都会の人達が訪ねて来ると豊丘に住んでみたいと何人も人が言われるそうです。村でも空き家があるので、もう少し何らかの方法で対応してほしいとの希望でした。



喫茶「そらくぼ」

編集後記

● 農業委員定数削減案を議会が否決した事が波紋を広げている。特にこれからの財政が逼迫して来る流れを見据えての農業委員会自らの結論に対しての否決である。私に聞こえて来る村民の声は大半が議会の否決に対して否定的なものばかりである。

地方交付税が激減して来るから何でもかんでも行財政改革の対象とし削減しろというものでもないだろうし、また旧来の組織を温存すればより機能するものでもない。

現実と理想のはざまでもより具体的で効率的な施策の落としどころ、その遂行方法を捜し求める事こそが議会に付託されているのではないかと。

● なにかと物議を醸している豊丘村議会も六月定例議会までには議員定数問題に決着をつけないてはならない。それぞれの議員としてそれぞれの思想が十四人分存在している。現実と理想をよく鑑みて、村民の皆様にも納得していただける議員定数を議決できるよう、それぞれに努力したい。

(下平喜隆)